

令和2年度 飯田小学校 学校評価だより

(最終結果報告)

令和3年3月

《学校教育目標》

心をあわせ、はつらつと、学びの道にいそしむ児童の育成

いつも本校の教育活動にご支援をいただきありがとうございます。1月に行いました児童・保護者・職員アンケートの結果をもとに、最終学校評価を行いました。その結果について、お知らせ致します。今年度は、コロナ禍の中、行事の中止や縮小などございましたが、保護者の皆様、地域の皆様のご協力のもと、教育活動を進めてきました。そのような中で、子ども達は、1年間で大きく成長しました。子ども達の頑張りが、私たちに元気を与えてくれました。

今後はさらに、皆様の声や学校関係者のご意見を指標として、よりよい学校づくりを進めて参りたいと思います。「子どもたちの健やかな成長」のためにご支援・ご協力のほどよろしくお願いします。

また、これまで、PTAの皆様には親子行事やおはよう挨拶運動など、様々な活動に取り組んでいただきました。読書ボランティアや長寿会パトロール隊など地域の多くの方々にも支えていただきましたこと、感謝申し上げます。ありがとうございました。

学力向上を達成する。国語科・算数科を中心に。

意欲は学力 学校で学ぶことは楽しい…肯定的回答 95%

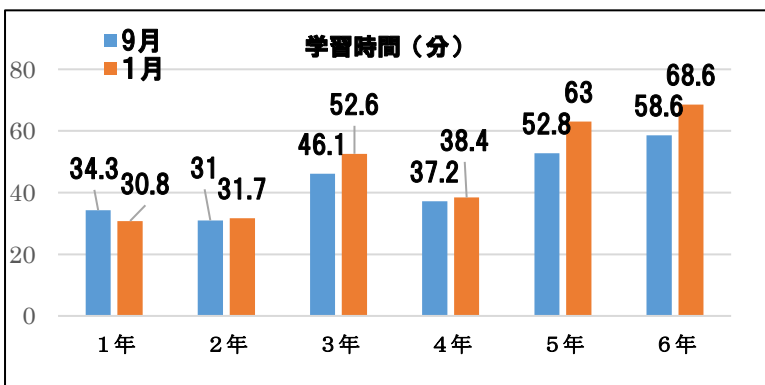
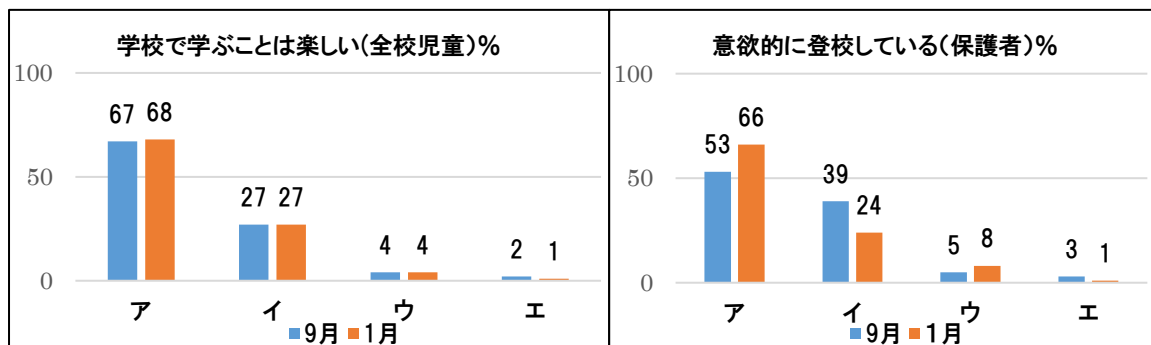
学校で学ぶことについての質問で、1月のアンケートも肯定的回答が児童・保護者ともに高めでした。

児童:「学校で学ぶことは楽しい」…低98% 高93%

保護者:「お子さんは学校へ意欲的に登校していますか」…91%

本校では、学び合いをもとに思考力・実践力を高める授業の在り方について研究を進めてきました。特に「解決の仕方が分からない」「ここまでは分かるけれど…」などの声を大切に、互に関わり合いながら課題解決することを目指してきました。児童アンケートの「先生はわたしたちの思いをよく聞いてくれる」「先生はいじめなど困ったことについて考えてくれる」という項目でも肯定的回答の割合が高いことから、今後も児童の思いを大切に、安心して学校生活を送ることができるようにしていきたいと思います。しかし、わずかに否定的な回答をした児童がいるので、注目して個別に指導していく必要があります。

ア:そう思う イ:だいたいそう思う
ウ:あまりそう思わない
エ:まったくそう思わない



また、学力向上につながる家庭学習時間については、中間では課題となっていました。今回は大幅に改善されました。中学校と連携している「家庭学習強化週間」と「バランスアップ週間」を絡め、テレビ視聴の時間やゲームの時間を各学級で決めたこと、家庭における学習量を学年の目標時間を考慮して調整したことで、成果がみられたようです。ほとんどの学年で目標の時間をクリアしています。目標時間達成者も64人で、全体の81%でした。

家庭学習の目標時間

低:20分 中:40分 高:60分

全児童が自己肯定感や有用感を持てるようにする。(いじめ・不登校未然防止)

友達が困っていたら進んで助けようとしている…児童89.9%

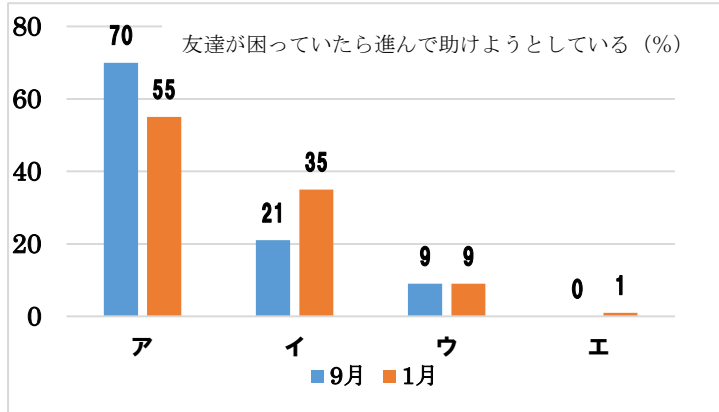
友だちと仲良く遊ぶことができています…児童96.2%

学校は、いじめや暴力のない学校づくりに努めていると思いますか……保護者90%

縦割り班による遊びや「いじめ撲滅集会」の企画、道徳の授業を通じて、人間関係づくり、コミュニケーションの大切さを考え行動する力の育成を進めてきました。また、「間違いを生かす授業」を大切にすることにも継続して取り組んできました。

児童のアンケート結果は、上記のように肯定的回答が高めですが、「友達が困っていたら進んで助けようとしている」が中間評価よりも下がっています。今後も、引き続き児童の良い行いを価値づけていくことを心がけていきます。

また、児童同士で認め合う場をさらに増やしていき、自己肯定感や自己有用感につなげていきます。

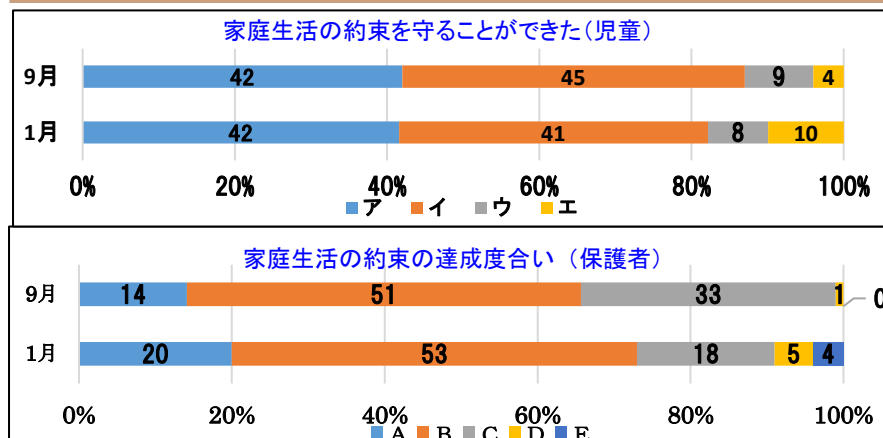


いじめ撲滅集会で、
どんなことを言われ
たら嫌なのかを交
流。

昼休みに縦割り小
班でゲーム。低学
年の子に優しくル
ールを教える高学
年。



学校と家庭地域の連携(家庭・地域との連携協力体制の確立)



家庭生活の約束を守ることができた
児童 82.2%

家庭生活の約束の達成度合い

保護者 76.0%

中間評価では、児童と保護者の方の意識の差が20ポイントありました。今回は、保護者の方の肯定的評価が伸びました。バランスアップ週間の取組において、「ノーゲームデー」の設定等、家庭生活の約束と関連させて取り組める学年があったことも良かったと思われます。児童と保護者の方の意識のズレが

小さくなったことで、双方がお互いに意識しながら取り組んだことがわかります。ありがとうございます。

しかし、「継続して取り組むことに難しさを感じる」という意見が依然として寄せられていることから、学校からの啓発の不足や振り返りの場面を定期的に設けなかったことが課題として残りました。学校と家庭の連携の在り方を模索していく必要があります。

第2回学校評議員会・学校関係者評価委員会報告

2月20日(土)に、学校評議員の坪野節子様、村田良和様、関原敏郎様、助則PTA会長様、道下夏織母親代表様に来校していただき、ご意見・ご感想をいただきました。皆様のご意見をもとに、よりよいものに改善し来年度につなげていきます。ありがとうございました。

学校評価 (最終結果)

【学びが楽しい学校づくり】 A

【主体的に課題解決する児童の育成】 B

【家庭学習の確立】 A(中間 C)

【道徳教育の充実】 B (中間 A)

【規範意識を高める】 B

【特別支援教育の充実】 A

【自己健康管理能力の向上】 A

【家庭・地域との連携協力体制の確立】 B (中間 C)

【学習環境の整備・校内環境美化】 B

【業務改善】 B (中間 C)